

2023年度 生徒募集中

イラストじゅくり塾
絵本ゆっくり塾
絵本わくわく塾

<https://www.gallery.jp>

kaiwajuku
絵話塾



木の子ズ

WELCOME





お問い合わせ・申込書送付先

ギャラリーヴィー 絵話塾

神戸市中央区元町通3-2-15

セントラルビル元町5F 〒650-0022

tel. **078-332-5808**

fax. 078-332-5807

✉ kaiwajuku@galleryvie.jp

● ホームページ

<https://www.gallery.jp>

● 絵話塾だより(ブログ)

<http://blog.goo.ne.jp/kaiwajuku>

● フェイスブック

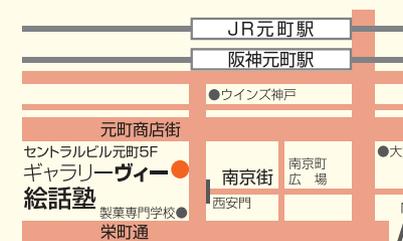
[facebook.com/kaiwajuku](https://www.facebook.com/kaiwajuku)

● Twitter

twitter.com/kaiwajuku

● Instagram

[kaiwajuku_insta](https://www.instagram.com/kaiwajuku_insta)



<https://www.gallery.jp>



絵話塾は絵本とイラストを学ぶ特別な教室です

今年で20年を迎える絵話塾(かいわじゅく)は、第一線で活躍中の絵本作家や編集者、イラストレーターが講師を務める、実践的な講座です。日々の暮らしを楽しく彩りたい方から、プロの絵本作家やイラストレーターを目指す方まで、幅広く対応しています。絵が好きでこれから描いていこうとする方、今は絵を描く事から離れている方まで、さまざまな方に対応しています。

授業は、メディアで見かける憧れの先生から、直接アドバイスやサポートを受けながら進めていきます。本やインターネットからでは絶対味わえない、情熱や空気感まで体験できる貴重な授業です。講師の方々は皆さんフレンドリーで親しみやすく、和気あいあいと楽しく学んで、各コースを修了する頃には確実に成長できているでしょう。

あなたも一歩踏み出してみませんか。

※開塾から19年を経て、卒業生の中にはプロで活躍中の方もたくさんいらっしゃいます。中には本塾の講師を務めておられる方も。

特徴

●第一線で活躍している作家が講師陣

教えるプロの先生ではなく、実際に第一線で活躍中の作家が講師。だから実践的でオモシロイ。

●他の講座もスポット受講できます

在籍中のクラス以外に興味のある他のコースも、卒業生・在校生なら受講できます。(有料)

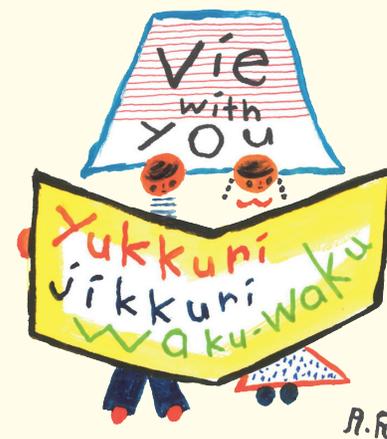
※イラストレベルアップコース・ドローイングクラス・文章たっぷりコース、絵本レベルアップコースはスポット受講ができません。

●先生との距離が身近に

授業が終われば、憧れの先生と直にお話ししたり、アドバイス等がもらえる場合があります。

●修了展の開催(参加費無料) ※但しDM代として500円いただきます。

1年間の授業が修了すれば、教室の隣のギャラリーVieで2週間の修了作品展を開催いたします。参加は自由です。



絵話塾 本科は3コースあります

絵本ゆっくり塾

■特徴

「絵本ゆっくり塾」は、絵本のプロとして第一線で活躍されている講師の方々と共に、ゆっくり学んでいくコースです。

将来絵本作家になりたい方はもちろん、プロは目指さないが自分自身や、誰かのために絵本を作りたいという方まで、幅広く対応しています。

■授業内容

このコースでは絵・ストーリー・画面構成・ページ構成など、実際の絵本制作に則したことや、制作上の心構え、編集者目線で絵本の考え方、出版社への売り込みに関することまで、知識や技術の習得だけでなくメンタル面で絵本制作にとって必要なことも学んでいきます。

例えば、A先生は本の成り立ちからアイデア出しの方法、画材の使い方・選び方といった絵本の作り方全般について。B先生は実験的なミニ絵本をその場で制作・講評。C先生はテーマを決めて様々な形態の作品を完成させるワークショップ。D先生は編集者の立場から絵本に関するお話と作品講評を行う、等々。このように個性豊かな講師のアドバイス・考え方を吸収して、絵本制作に必要な「something」を学ぶことが出来ます。

■開講日

2023年9月24日(日)から約1年間(冬休みあり)

■講座数

年間60単位/1単位=1時間

■日時

Aコース/日曜日午後2:00~4:00
B 17:00~19:00 Bクラスは10名以上で開講

■定員

約15名

※授業は2時間が基本ですが、3時間授業の場合もあります。※各コースとも開講日は変更になる場合があります。

絵本わくわく塾

■特徴

「絵本わくわく塾」は、週末の授業には出られない人や、絵だけではなく、文章についても深く学びたい方のためのコースです。

「ゆっくり塾」と同じく、絵本のプロとして第一線で活躍されている講師の方々と共に、わくわくしながら楽しく絵本と取り組む講座です。将来プロを目指す人はもちろん、絵本が好きでもっと奥深く学びたい方まで、幅広く対応しています。

■授業内容

このコースでは絵本作家や編集者に加え、児童文学作家もおられるため、絵と文章をセットで学ぶことができます。もちろん「ゆっくり塾」と同様、絵・ストーリー・画面構成など実際の絵本制作に則したことや、制作上の心構え、編集者から見た絵本の考え方、出版に関するお話等も聞いていきます。

例えばA先生はお薦め絵本の読み聞かせをしたり、B先生は漢字を使わないで文章を組み立てたり、C先生は絵本作りのきっかけになるアイデア出しの方法を実際に試してみたり、D先生は普段なかなかできない方法で絵を描いたり多彩な内容です。

個性豊かな絵本を作っておられる講師の方々が、あなたの絵本作りの応援をします。

■開講日

2023年9月27日(水)から約1年間(冬休みあり)

■講座数

年間60単位/1単位=1時間

■日時

水曜日 午後2:00~4:00

■定員

約15名

イラストじゅくり塾

■特徴

「イラストじゅくり塾」は、絵を描くことが好きでもっとスキルアップしたい人や、暮らしの中で使える絵を描いたり、絵を仕事にしたい方にもお勧めのコースです。

プロのイラストレーターとして第一線で活躍されている講師の方々のテクニックや、経験に即したさまざまなお話を聞いたり、作品を講評してもらいながら、各自のレベルに合わせて自分だけのオリジナルなイラストを、じっくり作りあげていく講座です。

■授業内容

このコースではイラストレーターの仕事のカテゴリーに入るさまざまな作品を実際に作っていきます。書籍の装画、CDジャケット、オリジナル雑貨、平面や立体のキャラクター作り、クロッキーなど。それぞれ独自の作風を持つ先生方と一緒に、色々なアプローチで自分の絵の世界を拓けていきます。使ったことがない画材や、自分では思いつかないような表現、多彩なテーマに沿った作品を制作することで興味が広がり、技術的にも精神的にも成長できます。またプロが仕事の現場で実際に経験した生きた言葉は、これから皆さんが絵を描いていく上でのヒントになるはずです。

■開講日

2023年9月30日(土)から約1年間(冬休みあり)

■講座数

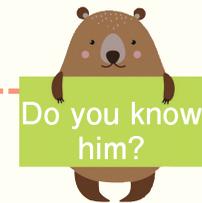
年間60単位/1単位=1時間

■日時

土曜日 午後2:00~4:00

■定員

約15名



茂田井 武

Motai Takeshi

昭和時代に活躍した日本の童画家で、素朴で大胆なデフォルメが特徴。絵本も出版されており、今の時代にも色褪せることがない画風です。

1908年東京で生まれ、1930年に渡仏。パリの日本人会で働きながら独学で絵を描き、日々の生活を画帳に描きとめた。帰国後、様々な職を転々としたのち、探偵小説雑誌「新青年」などに挿し絵を描く。1941年に初めての子どもの向け絵本「ナニナニ繪本」を出版。絵本、童画の勉強に本格的に取り組む。特に戦後の10年間は子どもの本を中心に活躍。

今でも出版されている絵本がありますので、一度手にとってみてはいかがでしょうか。



『ton paris』

絵：茂田井 武 出版社：講談社
20代にパリで描き綴った画帳。1930年代のパリの空気を水彩や色鉛筆で描かれた絵日記。



『セロひきのゴーシュ』

作：宮沢 賢治
絵：茂田井 武
出版社：福音館書店



『山ねこホテル』

作：柴野 民三
絵：茂田井 武
出版社：ピリケン出版



『ねずみ花火』

作：柴野 民三
絵：茂田井 武
出版社：ピリケン出版

2023

コース紹介 — 2

本科の講座

絵本ゆっくり塾 — 4

授業風景

絵本わくわく塾 — 6

授業風景

イラストじゅくり塾 — 8

授業風景

別科の講座 — 10

ドローイングクラス

イラストレベルアップ

絵本レベルアップ

文章たっぷりクラス

講師プロフィール — 12

OB・OGの活躍 — 18

Q&A — 19

入塾までの流れ — 20

申し込み用紙 — 21

絵本ゆっくり塾

■講師

荒井良二 飯野和好 太田朋 木村真
高島那生 はやしますみ WAKKUN (五十音順)

2023年
9月24日 sun
start



illustration
Arai Ryoji

「絵話塾」では、絵本を教えるプロではなく、実践で活躍されて本もたくさん出版されている作家や編集者が講師を務めています。先生の名前を聞いてもピンとこない方も、絵を見れば分かる方も多いと思います。

授業内容は、教えるというより先生が今まで経験してこられたことを生徒さんに伝えるような授業です。ですから「僕は先生ではないから、名前前で呼んでね」という方もいらっしゃいます。

絵話塾に入る前、「絵はあまり描いたことがないのですが、入ってからついていけないかどうか不安です」という声をよく聞きます。たしかに生徒さんの中には始めから絵が達者に描ける方もいますが、それよりも大事なことは、絵本を作りたいのに絵を描いたことがないと自分で理由をつけて、あきらめてしまわないことです。誰にでも「最初」があります。絵話塾で学んで一歩踏み出しましょう。



荒井良二／無駄話が好きなんだよなあ。
無駄話をしながらお互いを歩み寄ることが出来るじゃない



はやしますみ／絵本制作のヒントになる授業



■構図に迷った場合は、自分の好きな絵本を見て参考にすると良いですよ。
■最初に作ろうと思ったものを最後まで仕上げ、「直す力」「やりとげる力」を身に付けてほしい。
■絵本のストーリーは、読み進めるうえでこうなるのだろなという読者の予想は裏切り、期待は裏切らない。

絵を描くのと同時に、
絵本を読むことも大事。



高島那生／生徒さんからテーマをもらって、描き方を披露。上が完成のイラスト



太田朋／まずは、しりとり絵本から制作

■白い紙と絵の具があれば絵が描けるものではなく、自分でテンションを上げることも大事。いかに絵を描くスイッチを入れるかですね。
■絵本のアイデア（発想）はまだ作品ではないので、アイデアをどのように調理して絵本を完成させるか。
■料理と同じで良い食材があっても調理の仕方次第で出来上がる料理は違ってきます。

advice



木村真／作家の制作秘話や苦労話など、編集者からのお話。



WAKKUN／長い紙に筆で思いきり描く！



飯野和好／三味線を弾きながら、授業を進める

絵本わくわく塾

講師

太田朋 高科正信 tupera tupera 土井章史
はやしあすみ WAKKUN (五十音順)

2023年

9月27日 wed
start



Illustration
Hayashi Masumi

この「絵本わくわく」コースは平日の水曜日に授業があります。日曜日がお仕事などで通えない方や、このクラスの先生が魅力で遠方から通われるという方もいます。

このクラスだけの先生は絵本作家の tupera tupera さん、児童文学作家の高科正信さん、絵本の編集者の土井章史さんです。日曜日の「絵本ゆっくり」コースとの違いは、絵本のテキストなど文章の勉強もすることです。

このコースは絵本づくりの流れをたっぷり教わる他、多彩なワークショップ形式の授業も行います。例えば tupera tupera (亀山達矢) さんの授業には「スゴロク」があります。まずは皆さんでスゴロクのマスと自分のコマを作ります。作ったマスには止まりたくないものがいっぱい！ゴールが近づけば、スタートに戻るマスもあり、みなさん童心に戻って、思いっきり楽しんでいます。この授業は人気があり、修了しても毎年この授業にスポット受講(p.19 Q&A 参照)で参加する方も多くいます。

入塾する前によく聞かれる質問のひとつに、期間が長いので続くかどうか不安という方もいますが、授業もあと少しで修了する時期になりますと、意外と早くてしっかりと通えました、という方が多くいます。また仕事などで転勤になる場合、次年度に持ち越す制度もありますので、安心して通っていただけます。

6

絵本わくわく塾



WAKKUN / 先生のデモンストレーション。大きい紙に墨を使って思いきり描く



太田朋 / 作品の講評



土井章史 / 編集者からの視点でお話

- 絵本は人と人とのコミュニケーションツール。
- 絵本は息が長く、世の中に残る魅力的な世界です。
- 何歳からデビューしても遅くはないです。楽しみながら続けていくことが大事。
- 絵本を作るなら、5〜6才頃の自分の気持ちを、自分の中に持っていてほしい。
- 絵本は絵が上手い下手ではなく、面白い話を書けるかのほうが大事です。
- 絵本にする絵は急がず、描く喜びを感じてゆったりした気分で描いてほしい。
- 絵本はアイデアだけではできません。発想はどこから出てくるのか分からないので、何でも気になること、思いついたことはメモっておくといいでしょう。



高科正信 / 絵本を深く解説しながら読み聞かせ

advice



子どもの本は、
人生を肯定してくれる。

- 自分は何をしたかったのか、一番伝えたいことを伝えることが大事。
- 絵本の秘密を知りたいなら、好きな絵本を何回も読んで模写してみましょう。
- 読者は理屈屋、絵本のなかで理屈が通ってなければ納得しない。また都合のいい展開だけでは読者は納得しません。

tupera tupera / 最終回の授業は、お待ちかねのスゴロク。マスも全て手作りでは、上位の方とブービーにはツペラさんから特別なプレゼントがあるかもです！



tupera tupera / ツペラさんが作られたスゴロクのマス。神戸らしいですね！

7

絵本わくわく塾



はやしあすみ / 画材の使い方を知ってもらうために、見本で絵を描きます。上は先生が描かれた作品



ハードカバーの絵本を製本する授業で完成した作品

イラストじゅっくり塾

■講師

安齋肇 イナキヨシコ おさないまこと たかいよしかず
寺門孝之 寺田順三 福田利之 弓削ナオミ (五十音順)

2023年

9月30日 sat
start



illustration
Fukuda Toshiyuki

「イラストじゅっくり」コースの授業は、年度によって多少異なりますが、オリジナルなキャラクター作りや本の装画を描いたり、また実用的な雑貨を作ったり、粘土を使って立体イラストを制作するなど、多彩な内容です。いろいろな授業を受けることで、あなたのオリジナルな絵を発見することもできます。普段の生活のなかで、絵は好きだけど、絵についてお話ができる友だちはそう多くないと思います。「絵話塾」に通われる生徒さんは、年齢も職業も住んでいる所(関西以外、遠くは千葉、沖縄、四国、広島などから通われる方も)も違いますが、イラストやアート、美術館などが好きという共通点が集まっているので、友だちができやすい環境です。

イラストコースを修了されても、何人かでグループ展を開いたり、好きな展覧会を見に行ったりして、おおいに楽しんでおられます。また他の生徒さんのイラストを見ることで、刺激になったり励まされたりもします。先生方のテクニックも教えていただけるので、今までと違った技法も身につきます。



たかいよしかず/昭和をテーマに描いた課題の発表



寺田順三/「人物」をテーマにした課題作品の発表。左は生徒さんの作品



イナキヨシコ/自作イラストをトートバッグにプリントしたり、缶バッジを制作

個性とは、試行錯誤をして積み重ねて出てくるもの。また個性ばかりではなく、息の長いイラストが一番いい。イラストの仕事は、完成までのスピードも大事です



弓削ナオミ/絵を描くうえでの基本を説明

advice

才能とは、継続する力。

■この人に仕事を依頼したいと思うのは、上手い・下手ではなく、合うか・合わないか、好きか・嫌いかで決まることが多いです。

■イラストに正解・不正解はないので、失敗を恐れずにいろんなことにチャレンジしてみてください。

■イラストレーターになるために一番大事なことは、継続です。それも楽しく続けていくこと。続けていけることが才能です。



8 イラストじゅっくり塾



寺門孝之/自作のイラストを発表



安齋肇/課題の発表。安齋さんがひとり一人にアドバイス

9 イラストじゅっくり塾

おさないまこと/最初の授業は粘土(ラドール)を使って立体を制作。後半の授業は、テーマを決めてカレンダー制作



生徒さんの課題作品

福田利之/コラージュ作品を制作する授業





2023年 秋からスタートの講座(別科)

楽しく絵を描くために

ドローイング クラス

講師 イヌイマサノリ

10月下旬から約8ヵ月間学んでいきます。月1回のクラスで4時間(間に休憩あり)の授業です。絵はあまり描いたことがない方、デッサンに自信のない方も絵を描くことは楽しいことを目指して、いろいろなモチーフに挑戦していきます。また動物園・植物園・公園・空港や街中などでスケッチを行います。

絵に興味のある方や基礎画力を高めたい方には最適なコースです。



神戸動物王国に出掛けてドローイング。写真は講評風景



しりとり言葉に絵を描いていきます イヌイ先生のお話

- 開講日>2023年10月28日(土)から8ヶ月間
- 講座数>32単位 1単位=1時間
- 日 時>土曜日 12:00~午後4:00
- 定 員>15名程度(定員になり次第締切)
- 受講料>115,500円(税込)
(授業料100,000円+通信費・雑費5,000円+税10,500円)

イラストのスキルアップ

イラスト レベルアップ

講師 山内 庸資
駒井 和彬
朝野 ベコ

月2回の授業で約8ヵ月間学んでいきます。講師は山内庸資さん、駒井和彬さん、朝野ベコさん。交代で生徒さんとの対話を通じて、各自のイラストをよりレベルアップすることを目指します。構図・配色・技法など制作に関することから、作品の売り込み・コンペへの応募、SNSの活用方法などをじっくりと継続的に学ぶことで、イラストに対する取り組み方・考え方・制作スキル・自作のプロモーション方法などをよりレベルアップしていきます。



人物の描き方のお話



初回の授業は自己紹介から プロジェクターを使ってる授業

- 開講日>2023年11月18日(土)から10ヶ月間
- 講座数>年間40単位 1単位=1時間
- 日 時>土曜日 午後5:30~午後8:00
- 定 員>15名程度(定員になり次第締切)
- 受講料>181,500円(税込)
(授業料160,000円+通信費・雑費5,000円+税16,500円)

絵本制作のスキルアップ

絵本 レベルアップ

講師 高島 純
松田 素子

月1回(2回のときもあります)約1年間のクラスで、講師は高島純さんと松田素子さんのお二人です。高島純さんは長年絵本を出版されている作家の立場から、ワークショップ形式で絵本に必要なトレーニングをします。編集者の松田さんは、生徒さんが作った絵本の講評と絵本をもっと深く理解するためのお話をされます。一年間じっくりと継続的に学ぶことで、絵本に対する取り組み方・考え方・制作スキルなどを、よりレベルアップすることを目指します。



松田素子/「こどものとも」のお話



高島純/絵を見て絵本らしい文章を考える

- 開講日>2023年11月12日(日)から約1年間
- 講座数>年間35単位 1単位=1時間
- 日 時>日曜日 午前11:00~午後1:30
- 定 員>15名程度(定員になり次第締切)
- 受講料>170,500円(税込)
(授業料150,000円+通信費・雑費5,000円+税15,500円)

文章を基本から学ぶ

文章たっぷり クラス

講師 高科 正信

文章に特化した約8ヶ月間の講座で、伝えたいことがうまく伝わる魅力的な文章を書くことを目指します。基本となる原稿用紙の使い方、句読点の打ち方から、展開の仕方、推敲の際に気を付けることなど、文章を書く時に役立つことばかりです。課題に対しても、一人一人ていねいに指導されるため、確実に実力がつきます。基本は絵本や児童文学を書きたい人向けですが、エッセイや小説を書きたい方にもお薦めです。



授業は講義が中心で、課題も出ます



絵本の読み聞かせ



高科先生の著作

- 開講日>2023年11月11日(土)から約9ヶ月間
- 講座数>年間40単位 1単位=1時間
- 日 時>土曜日 午後5:00~午後7:30
- 定 員>15名程度(定員になり次第締切)
- 受講料>181,500円(税込)
(授業料160,000円+通信費・雑費5,000円+税16,500円)

講師プロフィール & 授業の進め方 | 絵本コース

荒井 良二
Arai Ryoji

●
絵本作家
イラストレーター



山形県生まれ。2005年日本人として初めてアストリッド・リンドグレン記念文学賞を受賞するなど、国内外で高い評価を得る。「たいようオルガン」(偕成社)で第1回JBBY賞、『あさになったのでまどをあけますよ』(偕成社)で産経児童出版文化賞・大賞を、『きょうはそらにまるいつき』(偕成社)で日本絵本賞大賞を受賞するほか、「みちのおくの芸術祭山形ビエンナーレ」芸術監督を2014年～2018年まで務めるなど、その活動の幅を広げている。最新刊は『ゆきのげきじょう』(小学館)



授業の進め方

僕の授業は、いつもお話から始まります。最近起こった事、読んだ本、気になる事など……。授業の後半では、冊子を使って1冊の絵本のようなものを作ります。まあ絵本の準備体操ですね。何も条件がないと作りにくいと思うので、こちらからテーマを決めて作ってもらいます。例えば、全部のページに1本の同じ線を描く、行って帰って来るお話にする、等。こうした決まり事や制限があると、その中で最大限出来る何かをやってやるう！探してやるう！として作るのではないかな。そこから創作のアイデアが生まれてくるのではないかな？と思っています。

授業の進め方

2004年の開塾当初から絵話塾の講師をしていましたが、しばらくお休みをして、2018年度からまた「絵本ゆっくり」コースを担当しています。年に1回だけですが、また皆さんにお会いできるのを楽しみにしています。授業は自作の絵本をカンカラ三味線を弾きながら、読み聞かせをします。また生徒さんが作った絵本のダミーまたは絵の講評をします。



tupera tuperaは亀山達矢と中川敦子によるユニット。絵本やイラストレーションをはじめ、工作、ワークショップ、アートディレクションなど、様々な分野で幅広く活動している。絵本など著書多数。海外でも様々な国で翻訳出版されている。主な著書に『かおノート』『やさいさん』『パンダ銭湯』『いろいろバス』『うんこしりとり』など。『しろくまのパンツ』で第18回日本絵本賞読者賞、マルセイユ 子どもの本大賞 2014年グランプリ、『わくせいキャベジ動物図鑑』で第23回日本絵本賞大賞。2019年に第1回やなせたかし文化賞大賞を受賞。武蔵野美術大学油絵学科グラフィックアーツ専攻客員教授、大阪樟蔭女子大学客員教授、京都芸術大学ごこも芸術学科客員教授。
<http://www.tupera-tupera.com/>

授業の進め方

これまでに50冊以上の絵本を作ってきました。初回の授業では、今までに出版した絵本のそれぞれの誕生秘話や、活動初期から現在に至るまでのtupera tuperaの様々な活動をじっくりとお話します。2回目の授業は、実際に手を動かしながら、みなさんの個性を味わうワークショップ、3回目の授業は、毎回恒例となった大盛り上りのゲーム形式でのワークショップとなります。tupera tuperaならではのクリエイティブをしっかりと感じていただける全3回の授業となります。みなさんにお会いできるのを楽しみにしていますね。

tupera tupera
亀山達矢

●
絵本作家



飯野 和好
Iino Kazuyoshi

●
絵本作家
イラストレーター



埼玉県生まれ。長沢セツ・モードセミナーでイラストレーションを学ぶ。1969年、雑誌「an an」に連載した『きみむずかしやのピエロットものがたり』でデビュー。『ねぎぼうずのあさたらう その1』(福音館書店)で第49回小学館出版文化賞受賞。『小さなスズナ姫』シリーズ(偕成社)で第11回赤い鳥さし絵賞を受賞。『みずくみに』(小峰書店)で第20回日本絵本賞を受賞。最新刊は『つぎのかたどうぞ』(小学館)。絵本の制作以外に人形芝居の美術・衣装、絵本セミナーの講師など多方面で活躍中。またブルースハープ奏者としてライブ活動も行っている。

授業の進め方

2004年の開塾当初から絵話塾の講師をしていましたが、しばらくお休みをして、2018年度からまた「絵本ゆっくり」コースを担当しています。年に1回だけですが、また皆さんにお会いできるのを楽しみにしています。授業は自作の絵本をカンカラ三味線を弾きながら、読み聞かせをします。また生徒さんが作った絵本のダミーまたは絵の講評をします。

東京都生まれ。Gakken 絵本編集部に所属。『Pooka』『おはなしプーカ』の編集長を務める。今までに200冊以上の絵本を企画・編集する。担当した作品に『いつでも会える』(菊田まりこ)『パパはウルトラセブン』(宮西達也)『思いつき大百科辞典』(100%ORANGE)『ぼうしとったら』(tupera tupera)などがある。2019年よりアヒル絵本ワークショップ主宰。

授業の進め方

本を出版・販売する側の編集者として、客観的な目で作品を見て講評します。海外の絵本の見本市などにも出かけて、海外と日本を比較しての違いなども具体的にお話します。授業では主に「ダミー本」の講評を行います。授業では主に「ダミー本」の講評を行います。授業では主に「ダミー本」の講評を行います。授業では主に「ダミー本」の講評を行います。例えば「食べ物」の絵本が主流になってきたと感じた時には、皆さんにもそれに関連した絵本で好きな本はないか聞いたり、また食べ物のキャラクターを考えてきてもらうこともあります。絵本は時代背景も大きく関係しているので広い視野で作ることも大事だと思います。

木村 真

Kimura Makoto

●
編集者



12
絵本講師プロフィール

13
絵本講師プロフィール

太田 朋
Ohta Tomo

●
絵本作家
イラストレーター



兵庫県生まれ。1994年よりポストカードの制作を始め、その後絵本も出版。『きみがはじまる』(学研)『うたたねネックとネムのく』(文研出版)等がある。シンプルな絵と言葉による作品は、若い女性を中心に人気が高く、イラストが入った雑貨やカレンダーもたくさん作られている。また出版物の表紙や挿絵、広告、アニメーションなども手がける。関西を中心に作品展を多数開催。



授業の進め方

シンプルな絵と短い言葉で作る表現を得意としています。授業では、8ページ絵本を作るところから始めて、最後は「自分のエピソード絵本」を作ります。絵本という枠に取まらなくて、自分の作りたい形、大きさ、長さ、手法も自由に作ってもらいます。授業中にアイデア出しをする時は、机を回り、生徒さん達の話聞き一緒に相談に乗りながら進めていきます。

愛媛県生まれ。日本児童文学者協会会員。作品に『タンポポコーヒーは太陽のにおい』(理論社)、『モモコ』(文溪堂)、『ふたご前線』、『ツバメ日和』、『はくらの事情』(フレーベル館)など。本塾講師・荒井良二さんとの仕事に『おおきなおきなさかな』『さよなら地底人』『さよなら宇宙人』(フレーベル館)。また本塾一期生こぼやしみをさん作画の絵本『たまのりおたまちゃん』『がぶりがぶりのおかあさん』(いずれもフレーベル館)がある。他に『ほつちたちの夏』(佼成出版社)『たぬきがくるよ』(絵・寺門孝之 BL出版)、2023年12月発行予定『プレゼントはひとつ』(福音館書店ごこものもと)などがある。

授業の進め方

児童文学作家で子ども向けのお話を書いています。普段は近所の海で釣りをしたり、釣ってきた魚で料理を作ったりして過ごしています。授業の初めには、最近読んだ本や好きな映画の話をして、進めていきます。毎回テーマを決めてそれに合う絵本を、読み聞かせをしながら紹介していきます。授業のテーマは「幸福のあり方」「私とは誰か」「子どもの秘密」等です。絵本の中にこんなことが隠されているのか、こういうことを伝えたかったのか、という部分を説明します。絵本には沢山の魅力が詰まっています。あと、文章を書く課題を出します。原稿用紙の書き方も含めて添削してお返しします。

高村 正信

Takashina Masanobu

●
児童文学作家



講師プロフィール & 授業の進め方 | 絵本コース

高島 純
Takabatake Jun

●
絵本作家



●
絵本
レベルアップクラス
担当

愛知県生まれ。愛知教育大学美術科卒業。『だれのじてんしゃ』（フレーベル館）でポローニヤ国際児童図書展グラフィック賞、『オー・スッパ』（講談社）で日本絵本賞、『ふたりのナメケモノ』（講談社）で講談社出版文化賞絵本賞。

絵本に、『だじゃれどうぶつえん』『なぞなぞはじまるよ』『たぶんぶた』（絵本館）、『ぞうがいるってすてき』『よいこはもうねるじかん』（BL出版）、『オレ・ダレ』『プービーとすべりだい』（講談社）、『うし』『どうぶつしんちょうそくてい』（アリス館）、『どうするどうするあなのなか』『もうちょっともうちょっと』（福音館）、『十二支のことわざえほん』『テレビマン ボルフ』（教育画劇）、『かばのさらばらのかさ』（ポプラ社）、『まじよがかぜをひいたらね』（理論社）など。

授業の進め方

絵本レベルアップを担当します高島純です。ボクの授業は、ワークショップ形式で絵本に必要な文章や絵のトレーニングを行うことがメインです。たとえばテキスト（文章）やだじゃれや言葉あそびに絵をつけたり、絵だけを見て絵本らしい文章を考えたりします。また生徒さんが持ってこられた絵本のダミーを講評します。

この授業で絵本らしい考え方、物の見方を練習して、深く絵本を理解していただきたいと思っています。



高島 那生
Takabatake Nao

●
絵本作家



岐阜県生まれ。東京造形大学美術学科絵画専攻卒業。絵本作家、イラストレーターとして活動中。第4回ピンポイント絵本コンペ入選『メガネをみてよ!』、第25回講談社絵本新人賞佳作『むかったさきは...』。主な絵本作品に『はく・わたし』『チータ大セール』『でっこりぼっこり』（絵本館）『いぬのムーバウいいいねいね』（講談社）『おまかせツアー』『クリスマスのきせき』（理論社）『だるまだ!』『カッパのあいさつ』『あるひこねこね』（好学社）『あいうえおんせん』（くもん出版）『バナナじけん』（BL出版）他多数。『カエルのおでかけ』（フレーベル館）で第19回日本絵本賞を受賞。最新刊は『げたばこかいぎ』（PHP 研究所）
www.nao-takabatake.com/

授業の進め方

ボクは今までと違う視点で絵本を作ります。例えば「描きたいシーン」の絵を何枚か描いて、描いた絵から連想する「コトバ」をつなぎ合わせて絵本を作っていきます。こうすると予測できない作り方が出来ます。

また、今まで自分が作ってきた制作エピソードや、皆さんの前で絵を描いて、描く順番、筆の運び方、色の混ぜ方などを直接見てもらうこともあります。たまに天気の良い日には外に出て、アイデアを見つけに行くワークショップを行うこともあります。



土井 章史
Doi Akifumi

●
編集者



広島県生まれ。1988年頃から絵本の編集にたずさわる。1993年東京吉祥寺に小さな絵本の店トムズボックスをオープン。いままで300冊以上の絵本をトムズボックスの名で企画・編集する。多くの絵本作家のデビュー作に関わる。2003年から学研の月刊絵本『おはなしブーカ』の企画・編集を担当。また絵本のワークショップ「あとさき塾」を運営し、多くの絵本作家を輩出している。最新刊は『絵本をつくりたい人へ』（玄光社）。2019年、トムズボックスの店舗を西荻窪に移転。

授業の進め方

トムズボックスの名で今までに300冊以上の絵本を編集しています。その経験を生かした編集者ならではの視点で、授業では主に「ダミー本」の講評を行います。また、作家さんとの制作秘話なども時々お話しします。子どもを喜ばせてみせる！そんな心意気、意気込みを感じる作品をぜひ作って下さい。楽しみに待っています！



京都府生まれ。京都精華大学美術学部デザイン学科卒業後、グラフィックデザイナーとなる。2008年度ギャラリー Vie 絵話塾修了。第10回ピンポイント絵本コンペ『ねーねーのじっぽ』で優秀賞受賞。自然の匂いや温度を感じる大らかな作品や、動物たちをユーモラスに描き出した作品が人気。『とんとんとんでれですか?』（岩崎書店）『たんぼレストラン』（ひかりのくに）『どんどろめがね』（佼成出版社）『ねこぼん』（偕成社）など、絵本多数。最新刊は『ひだまりまりちゃん』（チャイルド本社）



授業の進め方

2018年度から「絵本ゆっくり」コースを担当している、はやしますみです。私の授業は、連続した4回のワークショップで、アイデアを練り、直すことを経験してもらいます。これが描きたい!と思いついたアイデアは、15場面の絵本にするまでに、自信がなくなったり、本当にやりたかったことを見失ったり、最初の輝きが鈍ってしまうことがあります。自分が一番作りたかったことに向き合いながら、絵本を一冊仕上げていきます。あと絵本作家になった経緯、出版社への売り込みの方法などのお話しをする予定です。みなさん最初から絵本作家の人はいません!必ず初めがあるのです。みなさんにお会いできるのを楽しみにしています。

はやしますみ
Hayashi Masumi

●
絵本作家

●
絵話塾出身の
先生です。



山口県生まれ。早稲田大学第一文学部卒業後、偕成社に入社。絵本編集部を経て「月刊MOE」の創刊メンバーとなり、編集長を努めた後に1989年に退社。その後はフリーランスとして絵本を中心に企画・編集・評論の分野で活躍。これまで300冊以上の本の編集に携わる。また自然や科学の分野においても、企画・編集および執筆者として活動している。



授業の進め方

これまで300冊以上の絵本の誕生に関わってきました。その誕生秘話と経過のダミーなどを具体的にお見せしながら、絵本が生まれてくるために最も大切な、作品の根この作り方や育て方からお話ししようと思います。時代を超えて読み継がれてきた絵本の力を、もう一度再確認する話も織り交ぜながら進めていきます。「読む力」と「創る力」とはつながっています。その上で、皆さんの作ったダミーを、現実的な出版の可能性という立場から講評します。読者としてもこれまで以上に絵本を楽しめるようになって欲しいし、それが作家としての底力（根っこ）につながっていくことを願っています。

松田 素子
Matsuda Motoko

●
編集者



●
絵本
レベルアップクラス
担当

神戸市生まれ。本名、涌嶋克己(わくしまかつみ)。1986年の初個展以来、毎年、関西を中心に展覧会を多数開催している。1990年絵本「ほっ」を出版。物語を空想しながら絵を描く少年の頃の気持ちがこもった独特の作品は、数多くのファンから「WAKKUN」の名とともに親しまれている。阪神・淡路大震災の時にWAKKUNの描くガッツ君のキャラクターに励まされた人は多い。



授業の進め方

授業は「起承転結」のお話を四人一組で作ったり、大きな和紙に墨と筆で絵や言葉を描いたりします。あまり絵本と関係ないように思えるかもしれませんが、これも表現の大事な肝になります。後半は「じゃばら本」というものを使って一冊の作品に仕上げていきます。ボクがよく生徒さん達に言っているのは「上手く描こうとしない」ということです。上手く描くことよりもその時に感じた温度や湿度なども一緒に表現できたら素晴らしい。自分自身感じた心の震えまでもどんなやり方で作ると良いのか、一緒に探していきたいと思います。

わっくん
WAKKUN

●
絵本作家
イラストレーター

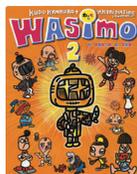


講師 プロフィール & 授業の進め方 | イラストコース

安齋 肇
Anzai Hajime
●
イラストレーター
アートディレクター



東京都生まれ。桑沢デザイン研究所デザイン科修了。TIS会員。音楽に関するさまざまなビジュアルから、キャラクターデザイン、雑誌連載、装幀、アニメーション、ナレーション、展覧会や音楽活動など多岐に渡って活動。長年ソラミキストとして「タモリ倶楽部」に出演した他、CMの声やTVドラマに出演することもある。チョコベリーズ、勝手に観光協会、LASTORDERZ、宿題工作展オバンドス、フレンズのメンバーとしても活動中。宮藤官九郎原作の絵本『WASIMO』や作品集『work anzai』ドローイング集『drow anzai』を出版。2016年初監督映画作品『変態だ』を撮る。



授業の進め方
ボクの授業では、毎回一人ずつに課題を出していきます。皆さんは、それぞれ描きたい絵、手法、好みなどそれぞれ違いますので、各自のやりたい方法をこの一年で見つけてほしいと思います。「絵話塾」は実験の場でもあります。また、絵の好きな、絵を描きたい人達が集まっていますので、いろんな描き方を試して皆の反応を見ていくと良いと思います。「絵話塾」を多めに活用してじっくりと楽しんで下さい。



イナキ ヨシコ
Inaki Yoshiko
●
イラストレーター



京都府生まれ。(有)ゴーズデザインを経て、2000年よりフリー。1996年玄光社イラストレーション「ザ・チョイス年度賞」特別賞受賞。2002年原宿・ROCKETにて初個展。石井好子『巴里の空の下オムレツ』においては流れる(扶桑社) 田辺聖子『残花亭日曆』(角川書店)等の書籍装画、『PARCO』やセレクトショップ『VIS』などの広告やノベルティグッズ、NHKラジオ第2放送のテキスト「英語で読む村上春樹」のイラストを担当。京都の服飾雑貨店「Polka dot」のショップカード・ロゴやテキストを担当。



授業の進め方
毎回雑貨作りを行います。自分が作って楽しく、身につけて嬉しいものを作っていきます。例えば絵を買うとなると少し勇気が要りますが、雑貨ですと気軽に手軽です。人にプレゼントするなどのコミュニケーションツールとしても使えます。授業で作るのは、年度によって違いますが缶バッジ、染色、名刺作りなどです。缶バッジも一枚の絵柄の中から、切り取る場所を変えるだけで全く異なる作品に仕上がります。見え方・見せ方は無限にあります。人に喜んでもらうと自分も嬉しく、制作の励みになります。

16
イラスト講師プロフィール

おさない まこと
Osanai Makoto
●
イラストレーター



神戸市生まれ。宝塚歌劇関係の制作のアシスタント、デザイナーを経て、1987年よりフリーのイラストレーターとなる。現在は東京在住。主な仕事としてNHK教育TV連続ドラマ「ミニモニ。でプレーメンの音楽隊」エンディングタイトル立体イラスト、JR東海新幹線キャラクター、パルメザンチーズのキャラクター「パルメくん」、長野朝日放送TVキャラクター「モーリーとりんごちゃん」等を制作。小学校の教科書『新しい算数』(東京書籍)の表紙。関西でも神戸須磨パティオのキャラクター「パティ」を制作。毎日ランニングとウクレレを楽しんでいます。

授業の進め方
イラストコースの中で唯一「立体」の授業を担当しています。ボクは「立体」を作って、カメラマンと組んで撮影するスタイルをとっています。イラストといえば平面作品を思い浮かべる方が多いと思いますが、粘土も画材の一つと捉えて使えば、絵の幅と可能性も広がります。授業では、プローチを作ったり、物語の一場面を立体で制作し、撮影してカレンダーを作ります。背景や登場人物の服など、何でも皆さんの工夫で頭をひねりながら一緒に作ります。先生に教わるという受け身ではなく、自分達で考えて進んでいく力を身につけてほしいと思っています。

大阪生まれ。大阪芸術大学デザイン学科卒業。(株)京田クリエーション入社後、多くのキャラクターデザインを手がけ、イラストレーターとしても活躍。見る人を元気づけられる作品を作ることがモットー。代表作に明治「マープルわんちゃん」、西宮市キャラクター「みやたん」、招き猫とダルマを合体させた『ネコダルマンワールド』を展開。童心社『怪談レストラン』シリーズの装丁・挿絵、くもん出版絵本『おはなし・くろくま』シリーズなど多数。2001・2003・2006・2011年イタリアボローニャ国際絵本原画展入選。



授業の進め方
キャラクターデザインを中心に授業を進めていきます。絵の世界は上手い下手ではないんです。ボクの考えでは「やる・やらない」、「好き・嫌い」、「合う・合わない」の3つではないかと思っています。一歩踏み出せばその先必ず何かにつながるはず。でも、やめたらそこで終わりなんです。ボクが今この絵の世界にいられるのは絵を描くことをやめなかったからです。描き続けるためには何をすれば良いのか、授業でお話していきたいと思っています。またおすすめの書籍やマンガ、アニメ、映画、展覧会など毎回紹介していきます。



名古屋生まれ。大阪大学文学部美学科卒業。セツ・モードセミナー卒業。1985年第6回日本グラフィック展大賞受賞。光溢れる天使や、溶けるような夢や物語の世界を描き、個展をはじめ、書籍の装画、広告、ライヴペインティングなど幅広く活動中。著書に『納豆の大ドンブリ』(岩崎書店)『てらびか映画日誌』(風濤社)、『DREAM DREAM』(ブルース・インターアクションズ)、『天使のカレンダー』(リトルモア)絵本『ぼくらのオペラ』(イースト・プレス)など多数。2010年公開の映画「人間失格」で主人公が描く絵を担当。現在、神戸芸術工科大学教授。



授業の進め方
主に課題を出して講評する形をとっています。これまでに出した課題の例で言いますと、「わたしのアイドル」「変身願望」「読書感想画」など。今はネットでいくらでも検索できるので、調べてもあまりわからないような、自分自身で考え、想像できる、そうせざるを得ないような課題を、とっています。絵を描くことは、太古から人類が今まで永く続けてきた行いです。いまあなたが絵を描いたとすると、それは人類史上何番目かの絵になるわけです。歴史的瞬間なのです。絵を描くとは一体どういうことか。そういった大きい広い視点で見ていくことも含めて、皆さんと「絵」について深く話し合っていきたいと思っています。

たかい よしかず
Takai Yoshikazu
●
HAPPY CREATOR



寺門 孝之
Terakado Takayuki
●
画家
イラストレーター



17
イラスト講師プロフィール

大阪生まれ。2000年カムズグラフィック設立。以降、関東・関西で作品展多数。独特のレトロな作風で愛らしい動物たちを描いた作品は、どの世代にも人気がある。オリジナルの雑貨やぬいぐるみも多数。絵本『タビの雑貨屋さん』(学研)『カルルとふしぎな塔』(白泉社)『ボクらはオコジョのおわりさん』(佼成出版社)『ようこそぼくのおともだち』(あかね書房)等があり、『カルルとふしぎな塔』はアニメーションにもなっている。アメリカのブランド「chronicle Books」で多数のグッズデザイン・イラストを担当。世界中で販売され人気を博している。2019年阪急うめだ本店のバレンタインのディスプレイを担当。

授業の進め方
文字と絵の構成を考えながら、「本の装丁」「カレンダー」「パンフレット」等の課題を出し、講評します。イラストは原画が完成形というよりも、人の目に触れるのは印刷された状態のものがほとんどです。どのような状態で完成まで持っていくのか、色の濃淡や文字の配置など細部まで計算して描いていきます。また、絵は描かないと上手くはなりません。そしてそれを人に見てもらわなければならない。授業では他の生徒さんの作品もしっかり見て、どうやって描いているのかも聞いて吸収してください。



寺田 順三
Terada Junzo
●
イラストレーター



講師プロフィール & 授業の進め方 | イラストコース

福田 利之
Fukuda Toshiyuki
イラストレーター



大阪生まれ。大阪芸術大学グラフィックデザイン科卒業後イラストレーターに。エディトリアル、装丁、広告、絵本、テキスタイルデザインの他、ムーンライダーズ、スピッツのCDジャケットなども手がける。主な著書に作品集『benoit』(ユトレヒト)、『コジナ帖』(ワールドコム)、『福田のフォト絵』(ヴィレッジブックス)『ミニカーミュータだいかつやく!』(アリス館)など。昨年から白浜アドベンチャーワールドの動物たちのイラストを手がけ、園内表示やグッズにも展開中。



授業の進め方
時間内に完結するワークショップ形式で授業を進めていきます。主に「コラージュ」という手法で、切ったり貼ったりしながら制作してもらうことが多いです。平面に描くだけが絵ではありません。コラージュはスピード感や引き算が大事です。授業でやったことをこれで終わりにせず、それを更に自分なりに発展させて、やっていって下さい。イラストレーターになりたい人は大勢いるので、他の人がやらないようなことをしないと埋もれていってしまいます。常に新しいことを探し試して挑戦してほしいと思います。

弓削 ナオミ
Yuge Naomi
イラストレーター



大阪生まれ。京都芸術短期大学(現京都芸術大学)ビジュアルデザインコース卒。デザイン事務所勤務後、イラストレーターとして活動。雑誌・書籍・CDジャケット・広告ポスター・化粧品パンフレットなどに作品を提供。個展やグループ展多数開催。女性や猫をモチーフにした作品が多く、どこか懐かしさを感じる世界を、墨・アクリル・デジタル彩色などで表現しています。元専門学校非常勤講師。愛猫家。

授業の進め方
楽しむこと。見つけること。を大切にしながら制作します。いろんな画材を使いながら、描き方のノウハウと、新しい表現方法を一緒に広げていきましょう。イラストを描いて発表することは、自分をさらけ出すこと。また、自分だけの世界で満足せずに、みんなの作品を見て刺激を受け、ステップアップしましょう。



卒業生の皆さんは、絵話塾で学んだことを活かし、修了後も継続的に作品展を行ったり、公募展に出品したり等、活動を続けています。またプロとして活躍している方も多く、ここでは一部だけですが、ご紹介いたします。



『おべんとう なにいれよう?』
作・絵：マメイケダ
出版社：小学館

「食べたいもの」「いろいろ」「予定」など、自分で考えて自分でお弁当をつくる楽しさを味わえる、食育にもつながるアクティビティブック。

■絵話塾 イラストコース修了



『まちにまった おでかけのひ』
作・絵：東川 りえ
出版社：絵本館

まちにまったおでかけの日!とところが、なかよしのラッセルとブルはちょっとしたことで、すれちがってばかり...。今日のおでかけはどうなるの?

■絵話塾 絵本コース修了

他卒業生は絵話塾のサイトをご覧ください。 <https://galleryvie.jp/obog.html>



案内の冊子を見たら、特別コースがあるのですね。どんなコースですか?

興味のある3コース(別科の「絵本レベルアップ」「ドローイング」「イラストレベルアップ」「文章たっぷり」も含む)を受講できるシステムです。絵本もイラストも興味ある方は集中的に勉強できるので、受講料も含めてお得なコースです。ぜひご検討ください。

休んだときはどうなるのですか?

「絵話塾だより」というブログに授業内容を載せています。それを見ていただいたうえで、授業内容を説明します。また付資料がありましたらお渡しいたします。

絵を描くのは初心者ですが、イラストじゅくりコースを受講できますか?

誰にでも最初はあります。今はあまり絵が描けないということは考えずに、絵が好きでこれから描いてみようと思っている方でしたら大丈夫です。デッサン力をつけるのであれば、好きな絵やイラストなどを模写してください。

受講期間中に転勤になって、三ヶ月間は通えないのですが。

お仕事をされている方は転勤もあるかと思いますが、その場合は休んだ授業日数を次年度に持ち越すことができます。またはその分のスポットカードをお渡ししますので、他の講座も受講することができます。詳しくはスタッフにお聞きください。

この他にわからない事がありましたら、メール・電話でご遠慮なくご質問ください。

授業料以外で指定の画材などを購入することがあるのですか?

画材の指定はなく、ご自身が使いたい画材でかまいません。またどんな画材がいいのか分からないときは、先生またはスタッフに相談してください。使ったことのない画材に挑戦するのも、勉強になります。ただしワークショップの材料費がかかることはあります。

絵本クラスは水曜日と日曜日があるのですね。何が違うのですか?

どちらも絵本のコースですが、大きな違いは、水曜日は児童文学作家の高科正信さんの文章の講義があることです。またツペラ・ツペラ、土井章史さんは水曜日。荒井良二・木村真・高島那生さんは日曜日だけのご担当です。有料になりますが他のクラスも受講できます。

家で描いてきた絵は授業後に先生に見てもらえるのですか?

授業後の先生のスケジュールにもよりますが、時間がありましたら見てアドバイスをさせていただきます。

先生からの課題は出るのですか?

全員の先生から課題が出ることはありません。何人かの先生から課題はありますが、大事な練習と考えて完成することが一番ですが、未完成または課題ができていなくても、他の生徒さんの作品を見るだけでも勉強になります。

絵本コースの受講を考えているのですが、授業料の分割は可能ですか?

はい。6回まででしたら手数料は不要です。またそれ以上の分割回数のご相談にも応じますので、詳しくはスタッフにお尋ねください。

絵話塾

tel.078-332-5808
kaiwajuku@galleryvie.jp



お申し込みから入塾までの流れ

送付先
神戸市中央区元町通3-2-15
セントラルビル元町5F
ギャラリーVie(ヴィー)
絵話塾まで

右頁の申込用紙に写真を貼付し、必要事項をご記入のうえ、ギャラリーVie(ヴィー) 絵話塾までお送り下さい。

- 郵送での受付
- 直接当塾での受付
- Eメールでの受付

2 申込方法

※入塾に際し、簡単な面接を行う場合がございます。

● **1 コース選定**
● 絵本ゆっくり塾
● 絵本わくわく塾
● イラストじゅくり塾
● 特別会員コース
本科は4コースありますので、興味のある講座をお選び下さい。
※別科の講座「イラストレレベルアップ」「絵本レベルアップ」「ドローイングクラス」「文章たっぷり」の4コースは、別の申込用紙になりますので、ご希望の方はお申し出ください。

▼ **直接当塾で受付**
右頁の申込用紙に写真を貼付し、申込書に必要事項をご記入のうえ、「ギャラリーVie(ヴィー) 絵話塾」までお持ち下さい。
※場所は下記の地図を参照

▼ **Eメールの場合**
お名前(ふりがな)・希望コース・ご住所・連絡先(固定電話または携帯)・メールアドレスを絵話塾まで送信してください。確認がとれ次第、受領書を送付いたします。FAXでの仮申込もできます。

▼ **3 必要なもの**
● 写真(申込書貼付用)
● 申込書(自筆)
写真は本人と分かるものであれば携帯で撮ったものでも構いません。

▼ **4 申込受付期限**
● 授業開始日の3日前
当日消印有効
ただし、各コースとも定員になりしだい申込受付は終了させていただきます。

▼ **6 お支払い方法**
支払時期はご相談に応じます
受講料は下記の方法でお支払いください。

■ 銀行振込
三菱UFJ銀行
神戸中央支店 普通口座
口座番号 3892520
名義 ギャラリーVie
村上政行(ムラカミマサユキ)

■ 郵便振込(ゆうちょ銀行同士)
記号14320 番号48425941

■ 郵便振込(他行からの場合)
店名 438(ヨンサンハチ)
普通・口座番号4842594
名義 村上政行

■ 現金書留/受講料と申込書を同封のうえ、ギャラリーVieまでお送り下さい。後日、領収書を郵送いたします。

■ 現金/ギャラリーVieまで直接お持ち下さい。

■ 分割払/ご相談に応じます。



5 見学・体験受講

各講座とも見学・体験受講を随時受付しておりますので、ご希望の方は絵話塾までメールまたはお電話で、お申し込み下さい。

TEL 078-332-5808
kaiwajuku@galleryvie.jp
※見学・体験受講は各コース1回ずつ

お問い合わせ先・申込書送付先
〒650-0022
神戸市中央区元町通3-2-15
セントラルビル元町5F
ギャラリーVie 絵話塾
tel 078-332-5808
fax 078-332-5807
e-mail kaiwajuku@galleryvie.jp

● 絵話塾の場所
JR・阪神元町駅西口下車南へ徒歩約3分。ビルの1Fにホリズカフェがあります。ビルの左側の扉から入って奥にあるエレベーターで5Fです。

右の申込用紙をコピーしていただいても結構です。

右の申込用紙を郵送または直接ご持参下さい

授業スタート
● 絵本ゆっくり塾(日曜日)…… 9月24日
● 絵本わくわく塾(水曜日)…… 9月27日
● イラストじゅくり塾(土曜日)…… 9月30日

✉ kaiwajuku@galleryvie.jp
● ホームページ
https://www.galleryvie.jp
● 絵話塾だより(ブログ)
http://blog.goo.ne.jp/kaiwajuku

絵話塾だよりには授業内容、次回のお知らせ等の情報載せています。
● フェイスブック
facebook.com/kaiwajuku
● Twitter
twitter.com/kaiwajuku
● Instagram
kaiwajuku_insta

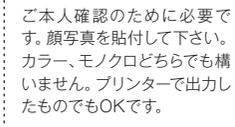
受講料	
● 絵本ゆっくり塾	
● 絵本わくわく塾	
● イラストじゅくり塾	
● 各講座 年間受講料	
入会金	33,000円
年間の通信費等・雑費	5,500円
授業料	212,300円
合計	250,800円
(税抜価格 228,000円、税 22,800円)	

● 特別会員	
下記の中から好きな3コースを受講できます。	
● 絵本ゆっくり(日曜日)	
● 絵本わくわく(水曜日)	
● イラストじゅくり(土曜日)	
● イラストレレベルアップ(土曜日)	
● 絵本レベルアップ(日曜日)	
● ドローイングクラス(土曜日)	
● 文章たっぷり(土曜日)	
● 授業料	
入会金	33,000円
年間の通信費等・雑費	5,500円
授業料	396,000円
合計	434,500円
(税抜価格 395,000円、税 39,500円)	

2023年度 第20期生 申込用紙



申込日 年 月 日
ふりがな _____
氏名 _____
男・女 ※男女の記入は自由です。
生年月日 ※生年月日の記入は自由です。
年 月 日



ご本人確認のために必要です。顔写真を貼付して下さい。カラー、モノクロどちらでも構いません。プリンターで出力したものでOKです。

受講コース(ご希望のコースを○で囲んで下さい)

- 絵本ゆっくり塾 A 14:00~16:00 (日曜日) B 17:00~19:00 Bクラスは10名以上で開講
- 絵本わくわく塾 14:00~16:00 (水曜日)
- イラストじゅくり塾 14:00~16:00 (土曜日)
- 特別会員 左下に内容を記しています。特別会員コースの受講料は左記参照

住所 〒 _____
都道 府県 _____
連絡先
TEL _____
携帯 _____
FAX _____
E-mail _____
※授業の連絡に必要です。絵話塾からのメールが受信できるアドレスをご記入ください。

勤務先(学校) _____
※記入は自由です。

ご注意 各講座とも先着順に受付しておりますので、定員になり次第締め切らせていただきます。受講料はコースの開講ができない場合にのみ、全額返金いたします。中途退学による返金はいたしませんのでご了承下さい。